



# 安全ニュース



公益社団法人 綾瀬市シルバー人材センター 安全・適正就業委員会 24-02号

## 全国シルバーでは(11月)こんな事故が……

1. 78歳の男性。高木上で剪定作業中、約3mの高さから落下し頭部を強打。頭蓋骨及び背骨2カ所を骨折。(死亡)……安全帽、墜落制止用器具共になし
2. 71歳の男性。電動バリカンで剪定作業中、三脚の約2mの高さから転落。頭部を強打。(死亡)
3. 67歳の男性。ゴミ処理場でペットボトルをコンベヤに送り込む作業中、何らかの理由でコンベヤに転落し破袋機に巻き込まれた。(死亡)

## 当綾瀬シルバーでも(1月)こんな事故が……

67歳の男性。脚立を使って剪定作業中、バランスを崩して約1.5mの高さから落下。フェンスの基礎コンクリートで腰を強打。(腰椎横突起骨折で、通院約2~3カ月の見込み)

### 【安全適正就業委員会から】

原因は、地盤の柔らかい場所に脚立を立てたことによるものです。安全就業基準のポイントの中で、『三脚脚立は、滑ったり傾いたりしないように据え付け、かつ開き止めを確実にかけること。地盤が不当沈下するような場所では敷板を敷いて安全を確保すること』となっています。もう一度、就業基準のポイントを確認するとともに、自分の作業する範囲の安全確認を徹底してください。

○○○○○安全無くして就業なし!○○○○○

## 1月の安全・巡回パトロールの結果から

現場の整理整頓や作業別安全基準が、できている班とできていない班が見受けられます。事故・災害防止の観点からも、各班全員が気を配って5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を徹底しましょう。